



五色沼自然探勝路の気になる石



▲瑠璃沼近くの四角い岩石

五色沼自然探勝路を歩くと気になる岩石があります。その岩石とは、瑠璃沼から弁天沼方面に30mほど北東に行った探勝路の右側に累々と重なる大きな角柱状の岩石です。この岩石は、緻密で均質な硬い安山岩で、そのまま石材になりそうな形と硬さです。この岩石は、噴き出た溶岩がまとまって静かに冷えて固体となり、冷却固化時の体積減少により規則正しい割れ目（節理）ができたため、角柱状になったと思われます。このような岩相は、溶岩が噴火口からやや離れたところまで流れて固化した場所にできることが多いです。

くしがみね 柳ヶ峰から川上登山口に沿って伸びる崩壊壁には、この柱状の節理のみえる溶岩の層が三層みえます。この瑠璃沼近くの岩石も、これらのなかの一部が岩なだれで運ばれてやって来た可能性があります。

以前84号のこのコラムに、現夢塚の岩石に、火山の噴火口近くで岩片がくっつきあってできた岩石（溶結火砕岩）の特徴がみられると書きましたが、瑠璃沼近くの岩石とはちょっとちがいます。いずれも、火山岩のできる場所の違いを反映し、それらがともに岩なだれにより現在のそれぞれの場所に運ばれてきた状況が読み取れます。

磐梯山の明治の水蒸気爆発による岩なだれの惨状を偲びながら眺めてみましょう。



▲崩壊壁にみられる溶岩の層



ようこそビジターセンターへ

展示室に新しい動物たちがやって来た！

今までもいた、小鳥たちやクマのはく製の他に、新しい動物たちが加わりました。

「ニホンカモシカ」、「ホンドキツネ」、「タヌキ」、「ニホンザル」、「ニホンリス」など、裏磐梯のいきものたちが展示室のなかに隠れています。動物たちの足跡を追いかけていくと、会うことができます。「動物足あとクイズ」もありますので参加してください。誰でも無料で楽しむことができます。詳しくはスタッフまでご連絡ください。



館内の至るところにいろんな足跡が！



▲動物足あとクイズ